

公益財団法人  
草津市コミュニティ事業団  
ロクハ荘



《人生ちよつと・いい話》

●草津で生まれ草津で育って七十一年が経ちました。京都は繊維の街、四条大宮界隈が賑わっていた時代、繊維を脱色したり色染めしたり化学工業薬品の需要は大きく、そこに就職したHさん持ち前の実直さは商品管理部門にピツタリでした。●社長をはじめ上司からも信頼がありました。

二十年后その真面目さや後に述べる団体活動の影響が新社長にとつては目の上のたんこぶになり、自ら退職選ぶ結果になります。●今回の主役Hさんはあまり口数が多い方ではありません。しかし、ついつい声をかけたくなる優しさのオーラが半端ない方です。●話は戻ってそんな形で退職してしまつたHさんですが、次の職場も直ぐに見つかり発送部門に携わること三十年、昨年まで勤め退職、今は毎日ロクハの湯に顔を出し日々を過ごしています。●結婚は昭和四十八年、二十六歳の同い年の奥様とはお見合い結婚一男一女の子供たちが授かります。奥様の性格を竹を割つたような性格と評し、「今でも心から愛しています」とは羨ましいなあ

●昭和四十五年大阪で行われた万国博覧会は世界中から多くの人が集う大きなイベントになりました。その時記録に残しておこうと始まつたハミリ(カメラ)での撮影はHさんの趣味の始まりです(※この時取り集めた資料公開は老人ホームなどへのボランティアに発展していきます)。●終了した万博の後、対象物は以前知り合いが見せてくれていた蒸気機関車の写真でした。単に動画像や写真を撮るだけでなく図書館へ行つて知識を広め、雑誌などからはイベント列車の情報得るやそこに出向く、鉄道百年記念として「ミステリー列車」

「SL白鷺号」が走る、「梅小路蒸気機関車」オープンと知ると出かけていく週末が来るのが楽しみな時間でした。●当時撮影された動画は草津市の広報に掲載されたイベントでも用いられ、知り合いが「SLを撮り始めるとはまるよ」と言っていた言葉が現実になっていきます。その後Hさん自身の動画撮影はやがて静止画写真へと変わっていきます。●しかし大好きなSL撮影も、とある団体との関わりからボランティア活動が主となり被写体はボランティア活動の写真となります。



●「今までで一番嬉しかったことは？」と投げると、迷うことなく「妻と巡り逢えたこと」と答え、逆に「一番辛かったことは？」の問いかけには「妻にいろいろ面倒や苦労をかけた事、そして何より一番は妻が亡くなった事」と言われました。●先程紹介した団体活動・職場での軌轢・など人間関係の板挟みはHさんの心を病むことになりました。

「自分はこれだけ一生懸命やっているのに」「仕事場でも率先して動いているのに」などなど、全ては思っている事とは逆に動きません。●歯車がうまくかみ合わず心を病んだこの時期入院や通院は妻にどれ程迷惑をかけてしまつたのか辛い時間でした」と振り返って目が潤むHさんです。●そんな時「細かいことにこだわらない事」「おおらかな気持ちを持つ事」「不愉快な事には気分を転換する」「広い心豊かな生活」(この言葉は奥様の実家の額の中にあつた言葉のこと)それが発想の転換生むきっかけとなりました。●心次第に晴れていきます。●そんな愛する奥様は今から四年前、長男の結婚式の一か月前に癌で他界されます。三十二年間の結婚生活でした。●今でも愛しています。●の思いは変わらぬ「あの世で楽しくしているかなあ」「寂しくないかなあ」「来世でもまた一緒にいるかなあ」との思いは今でも毎日変わることのない奥様への「愛」です。●昭和四十六年から興味を持った蒸気機関車の写真是動画から静止画へと変わりましたが新聞や雑誌からの情報を得て取材に出かける日々が続いています。●「つまらぬことに心を留めぬこと・考えず・記憶せず」が座右の銘。●蒸気機関車の様々な写真は出かけるきっかけを作り気分転換を図る良い機会であり、しいてはそれが自慢となつていきます。●そんな時はいつも奥様の写真が手元に●今回インタビューをお願いすると「眠れない！」と言つてまじめさの一端を見せてくれたHさんは自分で原稿を作っていました(笑)「毎日明るく楽しい生活を送りたいですね」と笑顔で私に語ってくれました。●「自分史を作りたいなあ」でしたら「お酒はほどほどに！」●Hさんありがとう。ござ

# ロクハ荘からのお知らせ

## ☆やります十やっています情報

☆「ロクハの写真を撮ってね！」

二月末までロクハ荘利用者の方々にロクハエリヤ限定の冬の写真（カメラは指定のもの）を撮って頂き、三月初めには写真展を開催します。

是非、参加してください。

.....

☆「ロクハ荘花壇」

大広間から見える中庭に花壇を作ります春に向けて花壇を作りたいと思っています。

皆さんお手伝いが必要です。「私手伝います」って方は事務所・榎本迄

.....

○「スポーツボイス学園2018」

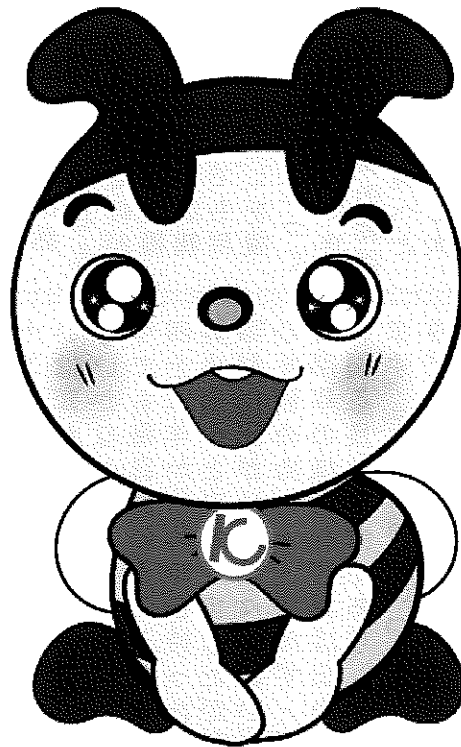
今や毎回五十余名が参加する「スポーツボイス学園」は三月まで開催しています。・・・あなたも参加してみませんか？

.....

○「月イチシネマ館」

ロクハ荘では毎月大広間で映画を上映しています。懐かしい映画や楽しいアニメ作品を大きな画面で提供します。上映開始は毎回十一時から。・・・映画ファンの方は是非！

# ありがとう



# スゴいります

## 四季薫る

## あそぶ一日

## ロクハ荘

編集後記

平成三十年日本各地は大きな地震災害と豪雨、そして災害的な暑さがニュースとなった一年でした。●そんな中、今年の流行語大賞は平昌オリンピックで活躍したカール・リング女子（LS北見）の選手たちが試合中に会話でよく聞いた「そだね」でした。●耳にする言葉で「心地良い」ものもあれば「気分を損ねる」ものも有ります。最近、若者が何かと言えば「やばい」を連発し、メディアすらこぞって使う時代です。が、これって「間違った使い方」と感じますがあなたはどう思いますか？●近年外国からの観光客が多く日本を訪れますが彼らが発する言葉はカタコトとは言え、「キレイ」と感じます。●電波を通じていい大人が「ヤバイ」と言う日本人、かたや勉強してきた「お願いします」だったり「ありがとう」のキレイな日本語を話す外国人、日々の暮らしが便利に発展する一方、日本人が発する言葉は後退している。●「生きたきれいな日本語」が使いたい。

